

1. 科目名 (単位数)	第二言語習得理論 (2 単位)	3. 科目番号	EIJP2341
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワークを含む)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	2 年次以上		
7. 講義概要	第二言語を学び習得する際の理論や問題点について学んでいく。第二言語習得は、日本語や外国語教師になることを目指すものにとって必要な知識である。本講座では、基本的な専門用語や、第二言語習得の際に起こる問題について学ぶ。		
8. 学習目標	第二言語習得(SLA)の基本的な概念の理解を目的とする。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 各自、学習用ノートを準備し、各授業で学習する用語について予習し、授業中にノートをとる。 2. 各授業の終わりにリフレクションシートを提出する。(10 点×4 回) 3. 授業で学習した内容に関して小テストを実施する。(15 点×2 回)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 学習内容をスライドで表示する。 【参考書】 授業内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1) 第二言語習得 (SLA) の基本的な概念について自分のことばで説明できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	外国語や日本語を効率よく教えるためには、習得のメカニズムを知り、自分の経験と照らし合わせて理解する必要がある。学習者の立場になって考える姿勢を身に付けてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス (学習の進め方、課題、評価方法) 母語獲得と第二言語習得の違い	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	時間割に沿って学習計画を立てる。
第 2 回	SLA 研究の歴史、行動主義、構造言語学、普遍文法	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 3 回	二重貯蔵モデル、チャンキング、リハーサル、スキーマ	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 4 回	モニターモデル、処理可能理論、適性処遇交互作用	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 5 回	アウトプット仮説、インタラクション仮説、意味交渉	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 6 回	中間言語、言語転移、過剰般化、化石化	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 7 回	復習、まとめテスト 1 の説明	事前学習	これまで学んだことに目を通しておく。
		事後学習	疑問点が残っていないか確認する。
第 8 回	まとめテスト 1、解説	事前学習	テスト範囲の語句を復習する。
		事後学習	解けなかった問題を復習する。
第 9 回	言語接触、言語の選択、複言語・複文化主義、CEFR	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 10 回	文化相対主義、アイデンティティ、継承語	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 11 回	バイリンガリズム、言語能力、カミンズの仮説	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 12 回	学習者要因、第二言語習得の環境、JSL / JFL	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 13 回	第二言語習得理論の外国語教育への応用	事前学習	指定された用語について調べておく。
		事後学習	授業ノートを見直し、学習内容を理解する。
第 14 回	復習、まとめテスト 2 の説明	事前学習	これまで学んだことに目を通しておく。
		事後学習	疑問点が残っていないか確認する。
第 15 回	まとめテスト 2、解説	事前学習	テスト範囲の語句を復習する。
		事後学習	今学期の学習の成果と課題をまとめる。